



2021年8月16日

各位

会社名 株式会社メディネット
 代表者名 代表取締役社長 木村 佳司
 (コード番号:2370 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 経営管理部長 落合 雅三
 (TEL 03-6631-1201)

(開示事項の変更)

第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について

当社は、2021年8月16日付の当社取締役会において、2017年6月1日付「第三者割当による新株式、転換価額修正条項付第3回無担保転換社債型新株予約権付社債及び行使価額修正条項付第12回新株予約権の発行に関するお知らせ」ⁱ（以下「2017年6月開示」）において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」の支出内容及び支出時期を変更、並びに2020年6月19日付「第三者割当による第16回新株予約権（行使価格修正条項付）の発行に関するお知らせ」ⁱⁱ（以下「2020年6月開示」）において資金使途の変更することを決議いたしましたのでお知らせします。

記

1. 2017年6月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」の変更内容

<変更前>（第12回新株予約権の発行及び行使により調達する資金の具体的な使途）

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 短期借入金返済資金	426	平成29年6月～平成29年9月 (2017年6月～2017年9月)
② 細胞培養加工施設の統廃合に係る費用	200	平成31年5月～平成33年5月 (2019年5月～2021年5月)
③ 細胞培養加工施設の能力増強に係る設備投資資金	1,004	平成30年5月～平成33年5月 (2018年5月～2021年5月)
合計	1,630	

※2017年6月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」の内容

ⁱ 2017年6月1日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/1481865/00.pdf>

<変更後> 調達する資金の具体的な使途（変更箇所は下線）

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 短期借入金返済資金	426	平成29年6月～平成29年9月 (2017年6月～2017年9月)
② 細胞培養加工施設の統廃合に係る費用	<u>104</u>	平成31年5月～令和3年5月 (2019年5月～2021年5月)
③ 細胞培養加工施設の能力増強に係る設備投資資金	<u>1,008</u>	平成30年5月～ <u>令和6年9月</u> (2018年5月～ <u>2024年9月</u>)
合計	1,538	

上記②につきましては、当初廃止を予定していた細胞培養加工施設1か所について、原状回復を行わず有効活用しているため、原状回復費用等が発生しなかったことから差額が生じたため変更するものです。③につきましては、②で使用しなかった資金を③に充当したため充当予定額を変更するものです。また、製造受託に係る需要動向が当初の想定を下回ったことから、変更前の支出予定時期において細胞培養加工施設の能力増強が不要となり、設備投資の時期を見直したこと等により、支出予定時期を変更するものです。

※第12回新株予約権は、12,500個(12,500,000株)全てが行使完了しており、1,538百万円の資金を調達しております。2021年8月16日現在において①426百万円、②104百万円、③241百万円をそれぞれ充当しており、支出して

いない資金 767 百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

なお、第12回新株予約権で調達して支出していない資金767百万円につきましては、2021年8月16日付「第三者割当による第18回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的な用途」(i) CDMO事業等拡大に向けた細胞培養加工施設の拡充に係る設備投資資金において見込んでいる設備投資(総額1,503百万円)の一部に充当する予定です。

2. 2020年6月開示において開示した「調達する資金の具体的な用途」の変更内容

<変更前>(第16回新株予約権の発行及び行使により調達する資金の具体的な用途)

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 難治性の消化器がんに対する新規の再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発に係る費用	551	令和2年7月～令和5年3月 (2020年7月～2023年3月)
② 国立がん研究センターと共同研究するHSP105の研究開発に係る費用	537	令和2年7月～令和5年3月 (2020年7月～2023年3月)
③ 京都府立医科大学と共同研究するBAR-T技術の研究開発に係る費用	473	令和2年7月～令和5年3月 (2020年7月～2023年3月)
④ 資本業務提携に伴う株式取得等に係る費用	314	令和2年7月～令和4年9月 (2020年7月～2022年9月)
合計	1,875	

※2020年6月開示において開示した「調達する資金の具体的な用途」の内容

ⁱⁱ 2020年6月19日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/1850701/00.pdf>

<変更後>調達する資金の具体的な用途(変更箇所は下線)

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 難治性の消化器がんに対する新規の再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発に係る費用	551	令和2年7月～令和5年3月 (2020年7月～2023年3月)
② 国立がん研究センターと共同研究するHSP105の研究開発に係る費用	537	令和2年7月～令和5年3月 (2020年7月～2023年3月)
③ 京都府立医科大学と共同研究するBAR-T技術の研究開発に係る費用	<u>375</u>	令和2年7月～令和5年3月 (2020年7月～2023年3月)
合計	<u>1,463</u>	

上記変更前④につきましては、第16回新株予約権の資金用途としておりましたが、当社株価の下落に伴い調達金額が減少したことから本資金用途へは未充当となり、実施できていなかったため削除することとし、2021年8月16日付「第三者割当による第18回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的な用途」(iv) 資本業務提携に伴う株式取得等に係る費用として、資金を調達することといたしました。

※第16回新株予約権は、16,400個(16,400,000株)全てが行使完了しており、1,463百万円の資金を調達しております。2021年8月16日現在において①は未充当であります、②18百万円、③17百万円をそれぞれ充当しており、支出していない資金1,428百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

本件による2021年9月期業績に与える影響は軽微であります。

以上